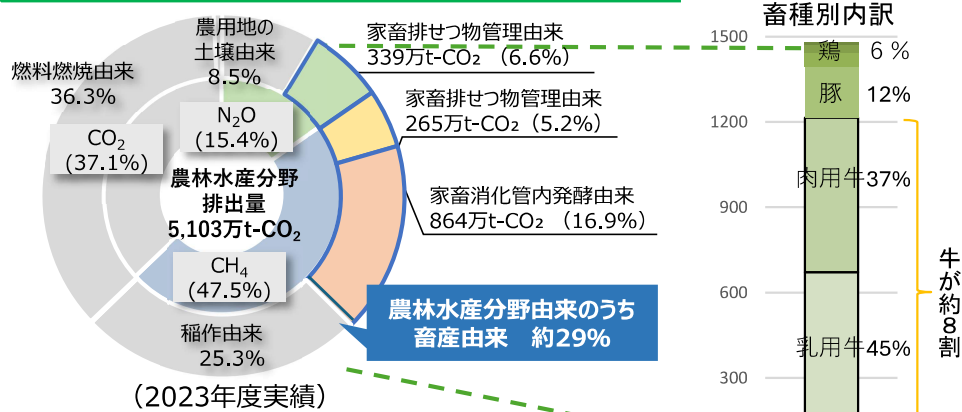


あなたも温室効果ガスの「見える化」に取り組んでみませんか？

地球温暖化への対応が世界的な課題となり、国民の関心も高まっています。我が国の農林水産分野における温室効果ガス（GHG）の総排出量の約3割を占める畜産分野においても排出量の低減を意識していきませんか？

畜産の温室効果ガス排出の概要



環境負荷低減の取組の「見える化」

生産に関するGHGの排出と吸収を定量的に算定し、削減への貢献の度合いに応じ星の数で分かりやすくラベル表示することを検討中です。

農産物で先行して運用中ですが、畜産物でも、牛分野での運用開始を目指しており、環境負荷低減の取組の「見える化」を推進していきます。



見る × 選べる
≡
みえるらべる



農産物では店頭のポップに「みえるらべる」を提示して販売されるなど活用が進んでいます。

算定実証・販売実証ご希望の方

問合せ先:

農林水産省 みどりの食料システム戦略グループ
畜産局総務課 畜産総合推進室

メールアドレス:

mieruka-chikusan@maff.go.jp

どんな取組が低減に寄与するの？

国産飼料・自給飼料の使用

- ▶ 飼料の輸送距離削減で、二酸化炭素などの間接排出量を低減。

GHG低減に資する排せつ物処理方法の活用

- ▶ 家畜排せつ物を強制発酵させることなどによりメタン、一酸化二窒素の排出を低減。



GHG低減に資する飼料添加物の給与

- ▶ アミノ酸バランス改善飼料の給与で家畜排せつ物由来メタンの低減。GHG削減効果の認められた飼料添加物の給与で消化管由来メタンの低減。



電気や燃料の効率的な使用

- ▶ 省エネルギーにより二酸化炭素などの間接排出量を低減。

生産性の向上に資する取組

- ▶ バイパスアミノ酸の給与、短期肥育や肉量・乳量向上等により、生乳や枝肉生産量当たりの二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素の排出量を低減。

算定方法に反映